

## 令和 5 年度 学校評価について(お知らせ)

平素より、本校教育活動にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。令和 5 年度末を迎えるにあたり、昨年12月に実施しました「学校教育自己診断」アンケートの集計結果をもとに、校内で分析を行い2月下旬には学校評議員の皆様からもご意見をいただき、1年間の学校としての自己評価(「学校評価」)をとりまとめましたのでご報告いたします。来年度もより良い学校づくりを進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

## &lt;学校教育目標&gt;

自ら考え 人とつながり 夢をもって とともに学ぶ子の育成

## 1、学校と地域が「めざす子ども像」の実現、地域に開かれた学校

本年度の重点目標	具体的な取組内容
<p>①すべての教職員が学校教育目標である「自ら考え 人とつながり 夢をもって とともに学ぶ子の育成」を念頭に置き、「めざす子ども像」である「自ら考え行動し、人や社会とつながり、夢をもって生きる子ども」を学年・学級経営の基盤とする。</p> <p>②学年・各組織が学校教育目標の実現のため、目標を決め取り組む。</p> <p>③生活科や総合的な学習の探求活動を通じて、地域とのつながりを実感できる取り組みを行い、情報活用能力を高め、自ら地域とかかわり貢献しようという意欲を育てる。</p>	<p>◎学級、学年目標を学年に応じて児童が主体となって決定し、目標を実現するための取り組みを行った。また、今年度も昨年度と同様、「ともに学び、ともに育つ集団づくり」を主軸とし、特別活動、総合的な学習の授業等で人間関係づくりワーク他、様々な実践を行い、校内研修でも集団作りの手立てを学んだ。</p> <p>◎校内組織において、人権部、カリキュラムマネジメント部、授業研究部が学校教育目標を中心に据えた各部の目標を設定し、教育活動を推進した。</p> <p>◎総合的な学習を「ぐんぐんフロンティア」と名付け、生活科とともに探求学習を行った。また、5年生の学習田、1年生の昔遊び交流、4～6年生の三島高校とのクラブ交流など地域と連携し活動に取り組んだ。地域の方、高校生など多種多様な立場の方々との交流を通じて、将来の自分ややりたい職業について考える機会とした。</p>

## 自己評価

◇学校教育自己診断アンケートの結果、「学校生活が楽しい」の肯定的評価が、95%(1～3年生児童)、93%(4～6年生児童)、96%(保護者)以下順序同じ、低学年「クラスに仲良く遊べる友だちはいますか。」が98%、高学年「クラスは居心地がよく、楽しい」が92%、93%(保護者)でした。いずれも9割を超え、高い数値ではありますが、その一方で若干数の児童・保護者が「そう思わない」と感じていることを課題とし、今後より一層の居心地の良い、魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

◇「教育方針や教育活動についてわかりやすく伝えている」の肯定的評価が93%と昨年度より5ポイント上がりました。コロナ禍を経て今年度は、保護者の方に行事参加や学級懇談も実施することができたのが良かったと思っています。今後も、学校だよりホームページ等を含めて発信していきます。

## 2、確かな学力の育成

本年度の重点目標	具体的な取組内容
<p>① 二中校区小中一貫教育を推進し、研究会の開催、指導方法の系統性と連続性の研究に引き続き取り組む。</p> <p>② 「子ども主体の協動的な学習を通して、全員が考えを深め、高めあうことができる授業づくり」を目指し、全教員が授業を公開、外部講師を招聘し指導方法の改善に取り組む。</p> <p>③ 授業改善・学習改善のための評価の実現を目指し、計画的組織的に実践する。</p> <p>④ 家庭学習の習慣の定着とともに、自学自習力を育成する。</p>	<p>◎ 12月には、高槻市教育センター委嘱の研究発表大会で、二中校区の代表として公開授業を実施。「個別最適な学びと協動的な学びの実現」をテーマとした授業実践を中学校ブロックで学び合った。</p> <p>◎ 年間6回の研究授業を実施するとともに、全学級で授業を公開した。児童が、生き生きと学びに向かう本校独自の「協同学習」のさらなる改善を目指す授業づくりについて研究を推進した。10月に二中校区合同授業研究会として、本校に山梨大学 三井一希准教授を招き「個別最適な学びと協動的な学び」のイメージ(学びの姿)について研修を行った。</p> <p>◎ 教科担任制を5年生、6年生で実施。各教科の専門性を高めるとともに、各学級の様子を複数の教師で見守ることができた。また、評価の在り方を交流し、整合性・系統性を高める評価について検討した。</p> <p>◎ 1年生から自主学習を意識した家庭学習に取り組んだ。</p>

### 自己評価

- ◇ 「授業はわかりやすく楽しい」では、94%、91%、84%となっており、いずれも昨年度よりも3ポイント以上上がっています。「先生は教え方を工夫している」では、99%、94%、92%となっており、昨年度より3ポイント以上上がっています。その結果か、「わたしは授業に意欲的に取り組んでいる」が95%、90%と昨年よりも5ポイント上がっています。これは、本校が取り組んでいる協同学習(児童が自ら課題と向き合い、答えを待つのではなく、協動的に解決に取り組む学び方)に取り組んできた成果だと考えます。また今年度からは、高槻市教育センターからの研究委嘱も受け、「個別最適な学び(一人ひとりに合った最適な学習を子ども自身が選択する学び)」も加えた授業改善に取り組んでいます。引き続き、子どもたちの確かな学力の育成のため授業研究を進めてまいります。
- ◇ 「わたしは、宿題や道具を忘れず持ってきている」が84%、73%となっており、他の項目に比べ低くなっています。引き続き学校からも声かけを続け、保護者の方々に頼らなくても自分で行動できる力を、特に高学年ではつけていってほしいと考えていますが、今一度ご家庭においても、確認及び声かけをお願いいたします。また、学校では自主学習ノートを活用し、自分の学びたいことについて進んで学んでいく力を、家庭学習から育てる取り組みも行っていきます。

## 3、豊かな人間性の育成

本年度の重点目標	具体的な取組内容
<p>① 一人ひとりが違いを知り、お互いを認め合うことができる人権教育の推進を行う。</p> <p>② 児童が自己肯定感や自己有用感を持ち、自らの生き方について夢や希望を育むことができるよう、キャリアパスポートを活用しながらキ</p>	<p>◎ 「ともに学び、ともに育つ集団づくり」をテーマに目指す子ども像の実現を目指して授業実践、集団づくりに取り組んだ。8月の二中校区全体研修では、大阪教育大学、野田航准教授を招聘し「通常学級に在籍する配慮の必要な児童・生徒に対する学習指導の在り方について」をテーマにご講演いただいた。</p> <p>◎ 二中校区の小中学校と連携し、キャリアパスポートの活用により、年間を通して自分自身を振り返り、また今学んでいることが自分の将来にどのようなつながっていくかを考える機会とした。保護者からのメッセージや担任からのメッセージも学年毎に残していき、これまでの自身の変容や成長を</p>

<p>キャリア教育の充実を図る。</p> <p>③特別活動を中心にした取組で、自分や集団の課題に気づき、課題解決に向けて行動できる子を育てる。</p>	<p>自己評価できるようにした。</p> <p>◎「心のアンケート」を年6回実施、児童同士のかかわりを把握し、集団づくりの手立てとして活用した。学級、学年でトラブルがあった場合は、早期に解決することを目指し、生徒指導上の諸問題については、上学年が下学年に適切な方法や正しい言動を啓発するなど、児童一人ひとりが自分事として居心地の良い学校について考える活動に取り組んだ。</p>
---	--

自 己 評 価

<p>◇「学校では、お互いの人権を大切にすることを学ぶ機会がある」が98%、95%、94%、「命の大切さ、社会のルールやマナーについて学ぶ機会がある」99%、98%、95%となっています。様々な場面での指導や「道徳」を要として、全ての教育活動を通して、教職員が児童に寄り添いながら指導している成果の1つと考えています。</p> <p>◇「学校では、自分の生き方や将来について考える機会がある」が93%、89%、76%となっています。本校ではキャリア教育の一環としてキャリアパスポートを活用し、学期や行事等の区切りで、自身が取り組んできたことを振り返る機会をつくってきたこと、また将来の自分を見据えたこれからの取り組みを考える機会をつくってきたことなどの成果だと捉えています。一方で児童と保護者での差が依然として大きくなっており、可能な限り、学校だより学年だより等で情報を発信し、家庭とも連携し、キャリア教育の充実に努めます。</p> <p>◇いじめについて、児童への質問項目「学校では、いじめ防止について考える機会がある」では、97%、93%、保護者への質問項目「家庭では、いじめ問題について話す時間を持っている」では、85%でした。学校では、いじめについて「シンキングエラー(自分都合の間違った考え方)」、「アンバランスパワー(力関係)」のキーワードを用いて傍観者の役割も含めて指導しています。</p>
--

#### 4、健やかな心身の育成

本年度の重点目標	具体的な取組内容
<p>①児童の体力・運動習慣を分析した上で、見えてきた課題の改善・解消に向けた体育の授業に取り組む。</p> <p>②校内でのスポーツ大会や重点的に運動に取り組む週間等を設定し、児童が自身の健康に関心を持ち、目標をもって日常的に体を動かすことができるように取り組む。</p> <p>③すべての学年で食育に取り組む。また、家庭と連携した食育に取り組む。</p>	<p>◎3～6年生は体力テストを実施。自身の記録を数値化し、視覚化することでより運動に興味を持てる環境を整え、体育科の授業改善に取り組んだ。</p> <p>◎なわとび週間は、ペア学年で2週にわたり取り組み、どちらも体を動かすことの楽しさ・良さを感じることができた。なわとびカードや体育ファイルでも体力づくりの意欲を高めることができた。みんな遊びや児童会の全校遊びなど、日ごろから体を動かす楽しい活動を多く取り入れた。</p> <p>◎栄養士が季節に合わせた食育の授業を実施。掲示でも日ごろ口にする食べ物について関心が持てるように取り組んだ。栄養通信を定期的に発行し、家庭との連携も図った。</p>

自 己 評 価

<p>◇3～6年生は体力テストを行い、自身の記録を数値化し、視覚化することでより運動に興味関心を持てる取り組みを実施しています。休み時間では、教師の声かけや、クラス遊び等を通じて、多くの児童が外遊びをしている姿も見られます。その結果、「学校では、健康管理や体力づくりに取り組んでいる」が99%、95%、90%となっています。今後も、児童が日常的に体を動かす機会を設け、児童が運動したいと思える機会を多く設定し、体力の向上に努めます。</p>
--

## 5、安全教育・防災教育

本年度の重点目標	具体的な取組内容
<p>①自他の生命尊重を基盤とし、「自助」「共助」の力を高めるために、安全教育・防災教育を計画的に実施する。</p> <p>②大阪府北部地震などの自然災害における対応の反省と教訓をもとに、家庭や地域と連携した学校安全体制の強化を図る。(危機管理マニュアルの見直し、整備など)</p>	<p>◎年間を通じて、災害時の避難・不審者対応などの訓練や高槻警察を招いての交通安全教室を実施した。また、たかつき安全 NOTE をもとに安全教育・防災教育の推進を図った。</p> <p>◎これまでに起こった災害についてのパワーポイントなどを活用し、児童が自ら自身の命を守る行動がどのようなものであるかを学ぶ機会を持った。安全部を中心に、危機管理マニュアルの見直しを行い、本校の現状に即したものに変更した。</p>
自己評価	
<p>◇「学校では、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいかを教えてもらっている」が98%、97%、98%となっており、大多数の方が安全・防災教育に取り組んでいると評価してくださっています。今後も様々な訓練や指導を通して、児童が困難に直面したときに自分で考え、「自分の身は自分で守る」ことができるよう、安全・防災について考える機会を、年間を通して持つことに取り組んでいきます。</p> <p>◇教職員も自然災害はもちろん、不審者対応、アレルギー対応等、緊急時に備えた訓練を重ねています。今後も地域の一員として児童の安全を第一に教育活動に取り組んでいきます。</p>	

## 6、いじめ防止等の対策について

本年度の重点目標	具体的な取組内容
<p>①いじめの早期発見や早期対応に努め、いじめの兆候に気づいた場合は、いじめ不登校対策委員会を中心に、児童一人ひとりに応じた指導や支援を組織的に行う。</p> <p>②いじめは、「どの子どもにも、どの学級においても起こり得るもの」であることや、「誰もが加害者にも被害者にもなり得るもの」であることを十分に認識し、児童が同じ失敗を繰り返さないよう、一人ひとりの成長につながる指導を行う。</p>	<p>◎スクリーニングシートを活用し、いじめや不登校の兆しを早期に把握、未然防止に努めた。特に、遅刻や欠席については担当と担任、管理職が連携し、早期に対策を講じることができるように組織的な対応を行った。また、いじめ不登校対策委員会を定期的に開催し、気になる児童の共有や事例検討など、それぞれのケースに応じた対応を考えた。</p> <p>◎いじめを積極的に認知し、事案発生時は早急に臨時いじめ対策委員会を開催、解決に向けて SC や SSW と連携して組織で対応した。</p>
自己評価	
<p>◇「学校では、いじめ防止について考える機会がある。」が低学年で 97%、高学年で 93%、保護者86%となっており、昨年と同じく高いポイントとなっています。各学年・クラスの取り組みの他、いじめを含む生活指導担当と不登校担当で責任者を分けて対応の迅速さや確実性を高め、校内全体で取り組んだ成果と考えます。今後も、いじめ・不登校のない安心・安全な学校づくりに努めてまいります。</p> <p>◇「先生は、いじめなど私たちが困っていることを真剣に対応してくれる」が98%、96%と高いポイントとなっています。引き続き、子どもたちのつばやきに耳を傾け、丁寧な指導支援を行ってまいります。</p>	

### 【学校評議員の皆様より】

- ・「学校は、安心して間違えることができる場所」を上手に実践されていると感じた。
- ・学力や健康面はもちろん、豊かな人間性の育成について素晴らしい取り組みをされていると感じた。
- ・地域と連携した取り組みによって、子どもたちが社会を楽しく学ぶことができる機会を持つことができる。今後も積極的に取り組んでほしい。
- ・いじめについて、子どもも含め保護者も学べる機会を学校から促してもらえとうれしい。